

News Release

2008 年 5 月 28 日
監査法人トーマツ
広報室：百瀬 旬
Tel：03-6400-5676
Email：
press-release@tohmatu.co.jp

TMT 業界の急成長企業を顕彰するランキングプログラム 第 6 回「デロイト トウシュ トーマツ 日本テクノロジー Fast50」 6 月 2 日(月)よりエントリー企業募集を開始！

監査法人トーマツ(東京都港区 包括代表(CEO)佐藤良二)は、日本国内の TMT (Technology, Media, Telecommunications) テクノロジー企業(*)を対象にした収益成長率ランキング、第 6 回「デロイト トウシュ トーマツ 日本テクノロジー Fast50(以下、Fast50)」の実施にあたり、エントリー企業を募集いたします。募集期間は **2008 年 6 月 2 日(月)から 8 月 1 日(金)**まで、ランキングの発表は 10 月 9 日(木)を予定しています。(募集要項は次ページご参照)

(*)ランキング対象の業界は、ソフトウェア・コンテンツ、インターネット、コンピュータ/周辺機器、ライフサイエンス、コミュニケーション、半導体/部品/電子機器です。

Fast50 は、TMT 業界の過去 3 年間の収益(売上高)成長率の上昇が著しい日本企業(上場・未上場は不問)の応募による、デロイト トウシュ トーマツ(以下 DTT)のランキングプログラムです。指標を収益成長率としていることにより、企業規模によらない成長性を表わすランキングとなります。

このランキングは企業の成長性や成功を知る上での TMT 業界におけるベンチマークの役割を果たし、受賞企業にとっては、Fast50 の受賞によって、企業間のコミュニケーション・ネットワークの構築やビジネスチャンスの拡大にも繋がるものと考えます。

<参考:2007 年 Fast50 ランキング トップ 10>

順位	会社名	業務内容	業務内容	成長率 %	所在地
1	ファイベスト株式会社	光ネットワーク用光部品の開発、製造および販売	半導体/部品/電子機器	6612%	東京都
2	株式会社UBIC	フォレンジック調査/ディスクリリー支援/ツール販売/トレーニング	インターネット	2948%	東京都
3	株式会社ジークレスト	オンラインゲームの企画/開発/運営/販売	ソフトウェア・コンテンツ	2187%	東京都
4	株式会社アイブローク(*)	モバイルコンテンツ事業、モバイルマーケティング事業	コミュニケーション	1161%	福岡県
5	アワンコンサルティング株式会社(*)	検索エンジン/マーケティング分野に関するコンサルティング業務	インターネット	1007%	東京都
6	株式会社ジーエヌアイ	中国拠点を活用し、アジアに多い疾患の治療薬を開発	ライフサイエンス	970%	東京都
7	メビックス株式会社(*)	大規模臨床研究向けの支援管理システムを提供	ライフサイエンス	716%	東京都
8	株式会社エンターモーション	モバイル上での広告媒体やキャンペーンサイト等の構築ASP提供事業	インターネット	652%	東京都
9	株式会社アグロディア	携帯電話等モバイル端末向けミドルウェアの開発、ライセンス販売	ソフトウェア・コンテンツ	626%	東京都
10	株式会社フォーサイド・ドット・コム(*)	コンテンツ事業/マスターライン事業	ソフトウェア・コンテンツ	610%	東京都

(*)は Fast50 複数回受賞企業

<参考:2007 年 Fast50 ランキング傾向>

昨年度の特徴は、多岐にわたる業種からの受賞があり、独自の製品・サービスを提供している企業がランキングされた点である。中でも、トップ10内に、株式会社アイフリーク、株式会社エンターモーション、株式会社アクロディアといったモバイル関連企業がランクインしているところにある。このランキング傾向は、SNS や電子メールをはじめとしたインターネットコミュニケーションにおける成長分野での利用端末が PC からモバイルに移行してきている状況を反映しているといえる。また、株式会社ジークレスト、株式会社ゲームオン、株式会社ゲームポット、サイバーステップ株式会社などのオンラインゲーム関連企業の健闘も目立った。オンラインゲーム業界への注目度の高さは、昨年の東京ゲームショウ 2007 において、過去最高の入場者数を記録したことからもうかがえる。

業種別に見ると、インターネット関連分野からの受賞が 54%(58%)と、3 年連続で最多となっている。ソフトウェア・コンテンツ分野は、一昨年同様 26%であり、相変わらず高い比率を占めている。以下、コミュニケーション分野が 10%、ライフサイエンス分野、半導体/部品/電子機器分野が 4%、コンピュータ/周辺機器分野が 2%と続いている。

市場区分で見ると 50 社のうち、70%の 35 社が上場企業(30%の 15 社が未上場企業)であり(2007 年 8 月末)、東証マザーズ 60%、大証ヘラクレス 26%、ジャスダック 11%のほか、昨年初めて札幌アンビシャスよりランクインした企業がある。また、昨年 8 月に開設された先端技術企業向けの新市場 NEO(ネオ)への第 1 号の上場承認を受けた、株式会社コピキタスがランクインしている。一昨年と比較すると、東証マザーズ 60%(51%)、大証ヘラクレス 26%(20%)は、ともに増加傾向にあり、2 市場への集中が進んでいる。

過去の Fast50/500 授賞式の様子、また Fast50/500 レポートおよび Global CEO Survey*の詳細については、www.fast50.tohmatsu.co.jp/ または www.deloitte.com/ をご参照下さい。

*デロイト テクノロジー Fast500 を受賞したアジア太平洋地域・北米地域・EMEA(欧州・中東・アフリカ)地域の急成長テクノロジー企業の CEO を対象に、DTT の TMT(Technology, Media, Telecommunications)グループが実施した各地域 CEO 調査を集計したものです。

「デロイト トウシュ トーマツ 日本テクノロジー Fast50」募集要項

【募集期間】 2008 年 6 月 2 日(月)~2008 年 8 月 1 日(金)

【応募資格】 以下の必要事項を満たす、上場・未上場 TMT テクノロジー企業*1 が応募資格を有します。

1. 下記条件のいずれかを満たす TMT テクノロジー企業である
 - ・売上高の大半は、自社技術開発の成果である
 - ・テクノロジー関連製品を製造している
 - ・テクノロジーの研究開発に重点を置いている
2. 3 年以上の業務実績がある
3. 対象期間の 1 年目の売上高が US\$50,000 以上である*2 (\$1=110 円の場合は約 550 万円以上)
4. 少なくとも、直近 1 年は、監査済みである(未上場の場合は、直近 1 年の監査報告書のコピー及び、直近 3 年の税務申告書または会社法(商法)計算書類の売上の箇所のコピーを提出してください)
5. 日本資本の企業で、国内に本社が所在する(国外子会社/支社は対象外。ただし、日本国内で上場しており親会社から独立して事業を営んでいる場合は、対象とする)

*1 ソフトウェア・コンテンツ、インターネット、コンピュータ/周辺機器、ライフサイエンス、コミュニケーション、半導体/部品/電子機器

*2 収益成長率のみを公表し、売上高は公表しません。

- * 日本テクノロジーFast50 の応募企業は、自動的にアジア太平洋地域テクノロジーFast500 の候補企業となります。
- * 公序良俗に反する、または反社会的勢力に関係すると認められた場合には、事務局の判断により、応募から除外される可能性があります。

【詳細】 www.fast50.tohatsu.co.jp/

【お問い合わせ】 テクノロジー Fast50 Fast500 日本事務局

TEL:03-6213-1234 FAX:03-6213-1245 E-mail: fast50@tohatsu.co.jp

テクノロジー Fast50、テクノロジー Fast500 とは:

インターネットの普及により生まれたデジタルエコノミーは従来の企業成長要件を変え、コンピュータ、ライフサイエンス、通信、およびゲームといったエンターテインメントなどは、技術・学問の進歩、異業種間の融合が加速され、経済発展を支える基盤産業の一つとなっています。デロイト トウシュ トーマツは、融合しつつあるこれらの産業を、TMT (Technology, Media, Telecommunications) インダストリーととらえ、企業の成長性を左右するデジタル・オポチュニティの活性を目指し、全世界でテクノロジー Fast50/500 プログラムを展開しています。

Fast プログラムは、直近 3 決算期(*1、2)の収益成長率を基準とした、上場・未上場企業の応募によるランキングです。対象業界はソフトウェア・コンテンツ、インターネット、コンピュータ/周辺機器、ライフサイエンス、コミュニケーション、半導体/部品/電子機器です。「テクノロジー Fast50」は国レベル(*3)、「テクノロジー Fast500」は地域レベル(*4)のランキングです。1995 年に米(サンノゼ)にて開始後、世界各国に広がり、さらに、地域レベルへと発展しました。アジア太平洋地域と EMEA(ヨーロッパ・中東・アフリカ)地域では 2002 年に Fast500 が開始されました。

(*1)1 月～3 月が決算期の企業は、2006 年と 2008 年に終了する事業年度の収益成長率に基づいて、
その他の決算期の企業は、2005 年と 2007 年に終了する事業年度の収益成長率に基づいて行われます。

(*2)北米、EMEA 地域は、直近 5 決算期。

(*3)テクノロジー Fast50 実施国:日本、オーストラリア、中国、インド、ニュージーランド、韓国、台湾、カナダ、米、英、中欧、仏、独、アイルランド、イスラエル、オランダ、ノルウェー、スウェーデン、トルコ、フィンランドなど

(*4)テクノロジー Fast500 実施地域(3 地域):アジア太平洋、北米、EMEA

デロイトとは:

Deloitte(デロイト)とは、スイスの法令に基づく連合組織体であるデロイト トウシュ トーマツ、そのメンバーファームおよびその関係会社を指します。デロイト トウシュ トーマツは、卓越したプロフェッショナルサービスとアドバイスを提供する世界各国のメンバーファームおよびその関係会社による組織体で、140 カ国で遂行されているグローバルな戦略を通じ、クライアントサービスに注力しています。世界中で約 150,000 人の優れた「知的資本」といえる人材により、Deloitte は4つの専門分野(監査・税務・コンサルティング・ファイナンシャル アドバイザリーサービス)で、世界の大企業の 8 割以上、全国規模の大企業、公的機関、地域顧客およびグローバルな成長企業にサービスを提供しています。サービスは連合組織体としてのデロイト トウシュ トーマツそのものによって提供されるものではなく、また、規制上あるいはその他の理由によって、一部のメンバーファームおよびその関係会社は、上記の4つの分野のサービスを全て提供していない場合があります。

デロイト トウシュ トーマツ(スイスの法令に基づく連合組織体)と、そのメンバーファームおよびその関係会社は互いの作為または不作為について責任を負いません。

このように、連合組織体であるデロイト トウシュ トーマツは、「デロイト」「デロイト&トウシュ」「デロイト トウシュ トーマツ」あるいはその他の関連名称のもとで業務を行なう相互に独立した別々の法的存在である各メンバーファームおよびその関係会社によって構成されています。

監査法人トーマツとは:

監査法人トーマツはデロイト トウシュ トーマツ(スイスの法令に基づく連合組織体)のメンバーファームで、監査、マネジメントコンサルティング、株式公開支援、ファイナンシャル アドバイザリーサービス等を提供する日本で最大級の会計事務所の一つです。国内約 40 都市に 3,000 名以上の公認会計士・会計士補を含む約 4,900 名の専門家を擁し、大規模多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細は監査法人トーマツ Web サイト(www.tohmatsu.co.jp)をご覧ください。

TMT グループとは:

デロイト トウシュ トーマツ(DTT)のテクノロジー メディア テレコミュニケーションズ(TMT)グループは急成長するテクノロジー企業を顕彰する「テクノロジー Fast50」と「テクノロジー Fast500」プログラムを運営しています。TMT グループは世界中のテクノロジー、メディア、テレコミュニケーション分野の企業にサービスを提供してきた経験豊かな専門スタッフで構成されています。私たちの顧客はソフトウェア・コンテンツ、半導体、ケーブル、メディア、出版、コミュニケーション・プロバイダー、ネットワーキング、ワイヤレス、コンピュータとその周辺機器、それらの関連事業にわたっています。

TMT のスペシャリストは、ビジネスが成長していく各段階でこれらの企業が直面する課題を理解し、成功に向けて支援することをその責務と考えています。デロイト トウシュ トーマツはテクノロジー、メディア、テレコミュニケーション企業の各顧客に、戦略面、金融面、実務面の支援を提供するリーダーです。